

TSUBOVI

team project C・B

THE 青年
5月号



会長挨拶

小田原箱根商工会議所青年部令和6年度会長就任に際して、皆様にご挨拶申し上げます。日頃より当青年部の活動に、ご理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

このたびの令和5年度臨時総会において、北村会長よりバトンを受け、会長職を預かることとなりました菊川鉄也と申します。微力ながら私が当会会長として今後1年間、会の発展のために取り組んで参る所存であります。また、この任期中間中、一度初心に戻り、そして、新たな事にチャレンジし、メンバー同士の絆を構築し、他関連機関との連携をより深め、新しい状況を生み出し易い基盤を構築して参りたいと考えております。

最後に、青年部活動を通じ、小田原・箱根の元気を全力で発信して参りますので、今後とも、一層のご支援とご協力を
お願い申し上げます。



令和6年度 会長
菊川 鉄也



総務広報委員会
石綿 秀規 専務理事



創立10周年記念実行委員会
椎野 拓実 副会長



組織連携スクラム委員会
後藤 健太郎 副会長



LTV委員会
稲葉 潤 副会長



革新チャレンジ委員会
川瀬 豊州 副会長



シン・拡大委員会
澤田 勇太 副会長



総務広報委員会
金井 大典 委員長

本年度の総務広報委員会では、総務・広報の活動を通して、当青年部が地域にとって価値がある組織であることを伝えることを目的に活動致します。

青年部会員の円滑な連携体制を構築し、活動の魅力発信と知名度向上に努めることで、小田原箱根の地域から更なる信頼を獲得し、必要とされる組織づくりに貢献致します。



創立10周年記念実行委員会
池田 大樹 委員長

当委員会では、これまで先輩諸氏により築きあげてこられた歴史、伝統、文化、熱き想いをしっかりと伝承し、周年イヤーにふさわしい記念事業、記念式典を開催いたします。

周年事業を通じ、全会員が一丸となり、より一層地域から期待と信頼を寄せ、思いを託され連携と受け継がれた絆が永続的に次代へ繋がることを目指します。



組織連携スクラム委員会
渡辺 大介 委員長

当委員会では、担当事業を通して地域活性化の一助となる活動を設けて参ります。

また地域で活躍されている方々との交流を図り、地域に対する情熱や想いを継承すると共に、新しい文化の創造に向かって研鑽に努めます。

地域活性化に向けて組織連携を図り、地域の特徴を活かしたイノベーションを創出すべく、スクラムを組んでチャレンジします。



LTV委員会
脇 寛和 委員長

近年、我々のビジネス環境は目まぐるしく変化しています。当委員会では、最新のマーケティング手法や、生成AI等の最先端のテクノロジーを学ぶ研修事業を行い、個々のビジネス能力を高め、地域の経済的発展に貢献できる青年部メンバーを育成して参ります。

青年部は自己成長に必要な【交流・学び・経験】を得られる場です。当委員会も研修事業運営を通じ、会員の皆様へ様々な価値を提供していきたいと考えております。個々の成長から組織力強化につなげ、地域社会に貢献できる価値ある青年団体へと進化していきます。



革新チャレンジ委員会
國安 則至 委員長

当委員会では、地域経済の活性化を図るために、地元の農産物や特産物を活かした地域ブランディングや、ビジネスファイナンスの最新の動向について学ぶ機会を設けて参ります。

研修を通じて、青年部会員一人ひとりが自信を持って新しい事にチャレンジできるように成長を促し、未来に向けての一步を踏み出し、地域にとって重要な組織となることを目指します。



シン・拡大委員会
瀬戸 広太 委員長

シン・拡大委員会では、青年部の今後の様々な可能性を見出し、真の豊かさを実現するため、新たな出会いの扉を開く会員拡大を主な目的として活動してまいります。また、地域の伝統文化を継承していく「小田原ちょうちん製作用指導教室」の運営支援、3月の「卒業例会・納会」も担当いたします。今年度の活動を通じ、新入会員の皆様が青年部活動に積極的に参加できるようなプラットフォームの役割を担い、当青年部の持続性を高めることを目指してまいります。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

4月 通常総会



箱根町
伊藤 和生 副町長



小田原市
守屋 輝彦 市長



小田原箱根商工会議所
鈴木 倣介 会頭

また、小田原市・守屋輝彦市長、箱根町・伊藤和生副町長、小田原箱根商工会議所・鈴木倣介会頭をはじめとした多くのご来賓の皆様にもご臨席いただけました。

4月18日(木)、小田原お堀端コンベンションホールにて「小田原箱根商工会議所青年部令和6年度通常総会」が厳粛な雰囲気の中開催されました。

議案審議では、直前会長である北村徳宏君から令和5年度の事業報告・収支決算の報告、野口監事より監査報告、今年度会長である菊川鉄也君から令和6年度の事業計画・収支予算および周年事業積立金取り崩しについての報告があり、満場一致で可決されました。

会長挨拶では、菊川会長より「創立当初より、小田原と箱根の青年部の考え方の違いを調和させるため、メンバー丸となった事業を続けてきた。そして、10年目を迎えることができた。今後は新たな目的を設定し、飛び立つ時だ。私の務めは、思考の実行機能を用い、新しい状況における、習慣になっっていることは別の行動を取り、どの行動をとるか選択し、メンバーを目的の地まで安全に運び、搭乗しているメンバーに寄り添い、一年間を共にし、気持ちに変化をもたらすような会を目指す。また、青年部活動は、前向きに経験として取り組み、学ぶべきことは、内容ではなくやり方であることを覚えてほしい。自分の方向性を見失った時に隣にいる仲間と学び、学びや経験を深めて、自分の適性能力を改めて見つけ、社会で活かすための道が見えてくるはず。」との所信表明が述べられました。

